

●受難節第一主日

泉のほとり

今日の詩編「第六〇篇」

神と共に我らは力を振るっています。
神が敵を踏みじつけてくださいます。



腹を立ててはならない

「殺してはならない」という戒めは、わたしたちの生活からは遠いと思われれます。自分が刃物で人を殺すなど、多くの人のとつて、想像できないからです。しかし主はそれを「腹を立ててはならない」と言い換えられました。兄弟に向かって腹を立てて「ばか」と言う者は最高裁判所に引き出され、「愚か者」と言う者は、火の地獄に投げ込まれると言われたのです。

ここで第一に主が問題にしておられるのは言葉です。刃物で人を刺さなくても、言葉で人を刺すことがあるからです。「ばか」とか「愚か者」とは「誰もお前なんか相手にしないぞ」という意味です。いてもいなくてもいい存在だということですから。こういう言葉が刃物のように人の心を刺して、その人を殺すことがあります。最近よく話題になる学校でのいじめは、殆どが、こういう言葉によるものでしょう。

もうひとつ注意したいことは「兄弟に」と言われていることです。兄弟はよくけんかをします。でも親にとつて、兄弟がお互いに憎み合うのは、耐え難い苦痛です。どちらが正しいかなど、問題ではありません。何としても和解をして欲しいと願うものです。天の父でいます神さまも、同じ思いでわたしたちを見ておられるのです。

だから主はここで和解の重要性を語ります。礼拝をするときに、誰かに恨まれていることを思い出したら、まず行つて和解をしなさいと言われま

す。礼拝堂の扉に「和解していない者は入つてはならない」と書かれていたら、わたしたちの誰が礼拝堂に入れるでしょうか。でも天国の扉には、必ずその言葉が書いてあるはずですよ。

無教会の指導者だった内村鑑三という人は、死の床で、自分を離れて行った弟子の名を呼び「○を赦す」と言つて相手を赦し、自分も赦しを願つたそうです。この主の言葉が、心に残っているのでしょうか。

どういう時に、兄弟に腹を立てるのでしょうか。約束を守らなかつた時や、一緒に動いてくれなかつた時、困っているのに助けてくれなかつた時など、相手が自分の思い通りに動いてくれなかつた時でしょう。

発達障害の妻を持った人が、妻が思い通りに動いてくれないので、いつも腹を立てていました。でも自分が脳梗塞のために機能障害になつて、これまでできたことができなくなつて、初めて妻の気持ちがわかつたと言つています。自分には簡単にできるのに、相手にはどうしてもできないことがあると、わかつたのです。

わたしたちは相手を理解するのがとても下手です。だから思い通りにならない兄弟に腹を立て、相手を傷つけます。でも神さまはすべてをこ存じます。だから、兄弟に腹を立ててはならない、と言われるのです。

問いかける

わが愛する息子テモテに・・・

テモテへの第二の手紙一章二節

社会はどうなるのか

子どもたちが

世に来るのを担んでいるこの社会は

父よ、彼らを救ってください、

彼らは知らない、

彼らのしていることを、

彼らは、乳飲み子たちに注がれる

あなたの力を横取りし

「わが息子よ」「わが娘よ」と言う

幸いを妨げている。

地はどうなるのか、

地には再び新しく

生まれる者たちがいなくなり

地上にあなたへの讃えの声は

途絶えている。

地はどうなるのか、

そこで「わが愛する息子よ」は

他所の国の言葉となつていく。

神の栄誉が葬られ、あるいはそれについて
黙されているとき、それは自然の秩序が逆
しまとなり、総てのものが混乱する事態を
指しています。それは陽の光が消えんとす
るかのごとく。否、それ以上です・・・。
カルヴァン 詩編一四八篇についての説教

R・カールン 祝「心」より

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービス
と、圖書二階リズム室では、「ぶどうの会」
が開かれます。また一〇時四〇分から園舎一
階のコスモスの部屋で紫園香音楽伝道師の指
導による讃美と祈りの会が開かれます。どう
ぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をしま
す。お昼は特製カレーです。

○昼食後、証しと祈りの会を行います。教会員
がこの一年間に受けた神さまの恵みを証しし
ます。どうぞお聴きください。

○証しと祈りの会の後、定例の役員会をカナン
ルームで行います。役員はお集りください。
またホールでは「健康エクササイズ」のプロ
グラムが行われます。どなたでもご参加くだ
さい。

○吉村牧師は、明日一九日(月)から二二日
(木)まで、北九州で行われる説教セミナー
で奉仕するために出張します。

○次週午後、新年度役員候補者推薦のための一
斉部会を行います。

第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21-17番

わたしのように

説教 「人は神のことばで生きる」

聖書 マタイ4章1節～11節 (新約P4)

司式 山名隆史 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允浚 副牧師

前奏曲 「イエスわが信頼」 J.S.バッハ

○ 讃美歌21-17番

1. 聖なる主の美しさと その榮えを 仰いで
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって
負ってくださる うれしき
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に任せよう
とるに足らぬ 私の愛のわざも 身も心も
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 實さ
望みは湧き おそれは消え
胸に満ちる よろこび アーメン

○ 教会学校生徒による讃美

「地球のどこかで」

○ ヴィオラによる讃美

「エレジー」 H.グェン

○ わたしのように

1. わたしのように 小さな子でも
真心こめて 主をたたえれば
主の御心に かなうでしょうか
※ 感謝します 感謝します 感謝します 神さま
 2. 小鳥の聲や きれいなもみじ
野菜 果物 海でとるもの
ふた親 兄弟 友達など
- □ ※ くりかえし
3. 荷ものよりも 罪やあやまち
おゆるしになる イエス・キリストを
くださいました 父なる神に
※ くりかえし アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 142番 339番

詩編 第60篇 (旧約P893)

説教 「自分の真実を知る信仰」

聖書 IIコリント13章5節～10節 (新約P341)

司式 山名隆史 兄

説教者 ・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「イエスキリスト我らの救い主」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 142番

○ ヴィオラによる讃美

「エレジー」 H.グェン

○ 聖歌隊による讃美

「世の罪を」 R.スレーガー

世の罪を負いて主は 十字架につき給う
救い主 我がイエス その死こそ我がため
我らを罪より あがなうためにぞ
主は十字架につき 死に給う
救い主 我がイエス その死こそ我がため
十字架こそ 我が救い 流されし血により
流されし血により 血によりて 我ら救われたり
この深き愛に 応えて
全てを献げん主のため 主のため
十字架こそ我が救い 主イエスこそ我が救い
主のために 主のために 我ら生きん

○ 讃美歌 339番

聖餐曲 「おお汚れなき神の子羊」 M.レガー

後奏曲 「おお永遠よ、汝いかずちのみ言葉よ」 J.ケルブス

聖餐曲 「問奏曲」 R.ガッーリ

後奏曲 「おお永遠よ、汝いかずちのみ言葉よ」 J.ケルブス

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。